



埼玉県母子寡婦福祉連合会情報紙  
 発行：(公財)埼玉県母子寡婦福祉連合会  
 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5  
 埼玉県浦和合同庁舎内  
 TEL 048-822-1951 FAX 048-822-1955  
 ホームページ <http://www.saiboren.or.jp>  
 メールアドレス [info@saiboren.or.jp](mailto:info@saiboren.or.jp)  
**平成 25 年 1 2 月 号**

**「ひとり親家庭のための研修会・子育て支援セミナー」を開催します(参加費無料)**

- 1日時 **平成26年3月16日(日)** 午後1時から4時まで  
 2場所 With You **さいたま 視聴覚セミナー室**  
 (ホテル プリランテ武蔵野 4階 JRさいたま新都心駅徒歩5分・北与野駅徒歩6分)  
 3内容 **第1部 研修会：テーマ「私の引き継ぎノート」**  
 ～自分の思いを伝える遺言書の作成をつうじて相続の基本的知識が分かります～  
 講師 **埼玉りそな銀行 ファイナンシャルプランナー**  
**第2部 子育て支援セミナー：テーマ(仮)「気になる子どもの教育資金」**  
 ～いくらかかるの？あなたの疑問にお答えします～  
 講師 **埼玉県東部中央福祉事務所 女性相談員**  
 4対象 **ひとり親家庭の親及び寡婦 定員 50名**(応募者多数の場合は抽選)  
 5申込方法・締切り **3月3日(月)までに**、①郵便番号・住所②氏名③年代④電話番号⑤「セミナー希望」を  
 明記の上、はがき、FAX、メールまたは電話でお申し込みください。  
 6申込・問合せ 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎内 (公財)埼玉県母子寡婦福祉連合会  
 TEL048-822-1951 FAX048-822-1955 メール [info@saiboren.or.jp](mailto:info@saiboren.or.jp) 担当 **尾形(平日9時～5時)**



**埼玉母連各福祉会会長・母子部会幹事等研修会を開催しました**

去る、9月29日(日)に(一財)全国母子寡婦福祉団体協議会評議員で(一財)千葉県母子寡婦福祉連合会理事長である宇佐見節子氏に、「母子家庭の現状と課題～全母子協の視点を踏まえて～」の演題で御講演をいただきました。

千葉県では市町村の数に対する福祉会の組織率が約60%で埼玉県よりはるかに高いこと、会員が約2,500人もいるとのことでした。各市の会長さんが工夫を凝らした活動を地道に継続することが大切であり、また、母子部と寡婦部の連携、寡婦になってからの入会促進についても興味深いお話でした。さらに、役員の方の心構えや行政とのつながりの大切さとともに、「子供のために楽しく活動していきましょう。」という結びの言葉が印象的でした。

また、当日は埼玉母連会長、副会長、各母子会会長、母子部会幹事さんなど40人のかたが集まり、熱心に講演を聞くとともに、埼玉県の各福祉会活動の活性化策に関し、熱心な意見交換を行いました。(事務局)



**新監事が選任されました**

是枝会長が8月11日の第1回臨時評議員会で監事から理事に就任したことに伴い、監事が1名欠員となっておりますが、11月9日の第2回臨時評議員会で十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科の学科長 栗原直樹氏が二人目の監事に選任されましたのでお知らせいたします。これにより11月9日現在の埼玉母連役員等は下記のとおりになります。

役員			評議員		監事	
役職	氏名	所属	氏名	所属		
会長	是枝 くみ子	鶴ヶ島市	権田 とめ	川口市鳩ヶ谷地区	清水 照枝	さいたま市
副会長	岩切 小夜子	さいたま市	塚田 みな子	越谷市	栗原 直樹	十文字学園
副会長	武市 聖子	蓮田市	佐藤 恭子	さいたま市		女子大学教授
理事	山路 喜世子	川口パピルス	小林 紀枝	行田市		
理事	楠田 利花	所沢市	堀江 八重子	蕨市		
理事	原田 都	戸田市	新免 啓子	坂戸市		
理事	陸川 月子	嵐山町	新井 紀子	鶴ヶ島市		
常務理事	尾形 寿男	事務局	山岸 ギン	小川町		
			安田 操	加須市騎西地区		

## 平成25年度全国母子寡婦福祉研修大会に49名が参加しました

今年はお隣の群馬県の群馬音楽センターで、10月19日(土)、20日(日)に標記研修大会が開催され、全国から約1,100名、埼玉県からも49名が参加し、ひとり親家庭の今後の福祉のあり方について勉強してきました。

開会式では、関東甲信越静地区の各会長が壇上に並ぶ中、群馬県副知事、県議会議長、石井淳子厚労省雇用均等・児童家庭局長等から、激励の御挨拶がありました。

厚労省の高松利光母子家庭等自立支援推進官からは行政説明が行われ、就労者の52.1%が非正規雇用であり正規雇用への移行支援が必要であること、就業者の31.9%が収入が良くない等の理由で転職を希望している、という、ひとり親家庭の厳しい状況の解説がありました。

また、ハローワークは約70%の母子家庭が利用・周知しているが、母子福祉センターについては6.2%であり、行政によるPRが必要とのことでした。

その他、学習ボランティア派遣事業がはじまったこと、母子家庭等日常生活支援事業は未実施の自治体があること、母子自立支援プログラム策定等事業の一環としてハローワークに就業支援ナビゲーターが配置されていること、高等技能訓練促進費を利用して資格を取得する方の8割以上が看護師・准看護師であることなどが理解できました。さらに、H19年から母子家庭等就業・自立支援センターに設置された養育費専門相談員の業務にH22年度から家裁への同行支援が追加されていることも分かりました。そして、8月には社会保障審議会児童部会の専門委員会がひとり親家庭への支援施策に関する中間まとめを出し今後の施策の方向性が示された(ひまわり10月号で一部紹介)ことなどを分かりやすく説明していただきました。

今回の研修討議で発表された6名の方のお話は、どれも素晴らしいととても参考になるものばかりでした。その中で感じられたのは、資格を取るためには家族の支えが大切であること、また、子供たちは大変な親の背中をちゃんと見ている、ということです。また、これからの母子会活動を活発にするには「拠点」や「集まれる場所」の確保が重要になってきています。街中にちょっと立ち寄れる「集いの場」があれば、学習の場にもなるし、世代間交流の場にもなると思われました。最終日の「大会決議」の要旨は以下のとおりです。



(最終日壇上の是枝会長)

- ①保育所や放課後児童クラブへの優先入所等子育て支援と生活環境の整備充実。
- ②企業における母子家庭雇用率の制度化や正規雇用施策の積極化。
- ③児童扶養手当支給の所得制限の緩和等児童扶養手当制度の安定的な見直し。
- ④養育費の支払い履行が確実なものになるような法的整備。
- ⑤扶養親族のいない生別寡婦及び未婚の母への扶養控除の適用。
- ⑥貧困の連鎖を防ぐため、高校・大学進学を支援するための、給付型奨学金制度の創設。

## 平成25年度 親子ふれあいフェスタ クリスマス会を開催しました!



大塚製薬株式会社		ソイカラ
株式会社八洋		飲み物
三国コカ・コーラ ボトリング株式会社		ノベルティ
株式会社ロッテ		お菓子2種

### 協賛企業一覧(アイウエオ順)

平成25年12月1日(日)に「平成25年度 親子ふれあいフェスタ クリスマス会」をさいたま新都心にある With You さいたま で開催し、大人48名、子ども52名が参加しました。当日は、バルーンアーティスト「くわっち」さんによるバルーンアートをはじめ、ビンゴゲームで盛り上がりました。バルーン教室では最初、こわごわ風船にさわっていた子どもたちもうちまく剣や犬を作ることができました。また、ケーキやフライドチキン、サンドイッチをいただき、お腹が一杯になりました。子ども達はそれぞれプレゼントをもらい、楽しいクリスマス会になりました。「くわっち」さん、ありがとうございました。



飲食の配達に便宜をはかってくださったシャトレーゼ大宮櫛引店様、すてきなノベルティもご用意して頂いたモスバーガー大宮東口店様、美味しいサンドイッチを作ってくくださった、

こんがりあん様ありがとうございました。

また、このクリスマス会の趣旨にご賛同くださり商品のご提供等ご協力いただきました4社の企業の皆様にも深く感謝申し上げます。

### ～全国及び県の社会福祉大会～表彰おめでとうございます

- ◎全国社会福祉大会会長表彰受賞者 堀江 八重子  
(蕨市母子寡婦福祉会)
- ◎埼玉県社会福祉大会会長表彰受賞者 福島 敏子  
(上尾市母子福祉会)
- ◎埼玉県社会福祉大会会長表彰受賞者 黒須 とよ  
(蓮田市母子福祉会)
- ◎埼玉県社会福祉大会会長表彰受賞者 岡田 よし  
(川口市鳩ヶ谷地区母子会)

### 母子連今後の動き

- 2月23日(日) 観劇会 於・明治座
- 3月9日(日) 埼玉県母子寡婦福祉連合会 第2回定時理事会
- 3月16日(日) ひとり親家庭のための研修会・子育て支援セミナー  
於・WithYouさいたま
- 3月16日(日) 全国母子寡婦指導者研修会 於・アワーズイン阪急
- 3月23日(日) 埼玉県母子寡婦福祉連合会 第3回臨時評議員会

あなたも母子福祉会に入りませんか! お問い合わせ (公財)埼玉県母子寡婦福祉連合会 事務局

TEL048-822-1951 受付:平日9時~5時 e-mail [info@saiboren.or.jp](mailto:info@saiboren.or.jp) <http://www.saiboren.or.jp>